

※本分科会参加者は、下記の囲みの説明に沿って、自身の実践場面をもとに、あるいは学生の実習場面などを参考に「生活場面面接ワークシート」をご記入のうえ、配布用として6人分ご持参下さい。

なお「生活場面」とは、利用者が日常生活を送っている場面（居宅、施設、地域など）を言います。また「生活場面面接とは、利用者の日常生活場面において、援助目標に沿い利用者の多様な側面と、必要に応じて環境（生活環境、出来事、他者との関係）を活用した意図的なコミュニケーションをいう。」

参考 「生活場面面接ワークシート」を用いた援助場面再構成

1. 目的

援助者が、援助場面における利用者との関わりについて再構成することによって、ソーシャルワークの価値、技術、理論などについて考察と自己覚知を深める。

2. 記載の方法

援助場面で、上手く対応できた場面や、悔いの残った場面のように、印象に残った場面を選択する。事例検討のためではないので、覚えている範囲（数分間）について、できるだけ忠実に再現する。

「項目1～8」までを、事前に記入し持参する。「項目9」は、レポート終了後に記入するので空欄のままにしておく。

以下、「項目6 経過」（「生活場面面接ワークシート」）についての記載方法について説明する。具体的には記入例を参照されたい。

A～Dについては、時間的経過がわかるよう、冒頭に①②…と連番を付す。

とりあげた場面中、時間の間隔が空く場合には、記入例のように横線で区切るとよい。

A. 周囲の様子：援助場面では、利用者と援助者との二者関係にとどまらない場合が多い。そこで、周囲の様子（例えば、他の利用者や職員、家族、近隣などの人的環境、飾り物、家具調度品、スイッチの入ったテレビで放送されている番組内容、ペット、その他の様子などの物的環境）等について記載する。利用者と援助者とのコミュニケーションに影響を与えるような第三者の話し言葉については、「 」書きで記載する。

B. 利用者の言動：利用者の言葉のほか、動作、表情、態度、言葉のニュアンスなどを記載する。話し言葉については、「 」書きで記載する。

C. 援助者の思い：援助者自身のその場の感情や思考について記載する。

D. 援助者の言動：援助者の言葉のほか、動作、表情、態度、言葉のニュアンスなどを記載する。話し言葉については、「 」書きで記載する。

E. 意味づけ：A～Dを記入後、利用者とのコミュニケーションについて、どのような意味があったのかについて、現時点でのふりかえりをもとに記載する。その場面で用いられていた「価値、原則、技術」などをとりあげてみるのもよい。また、それだけにとどまらず、援助者自身の意味づけを記載しておくことが望ましい。

3. 活用法

(1) 実習指導（事後指導）や実習後の相談援助演習等で取り扱う。

(2) レポートの方法

①「項目1～8」までについて説明し、他の学生や教員からの質問を受ける。

②「項目6」は、まずA～Dについて、時間的経過に沿って説明する。次いでEについて説明し、他の学生や教員からの質問や意見を受ける。

③項目7及び8について説明し、他の学生や教員からコメントを受ける。

(3) レポート後の課題として、項目9を記載し提出する。

参考「生活場面面接ワークシート」用フェイスシート

再構成場面の日付 年 月 日／記入日 年 月 日／項目 8 の記入日 年 月 日

1. タイトル	
2. 施設種別	
3. 事例の概要 (援助目標を含む)	
4. とりあげた場面 の選択理由	
5. とりあげた場面 に至った経過 または背景	
6. 経過	(別紙「生活場面面接ワークシート」に記入)
7. その後の経過	
8. 考察	
9. 再考察	

参考 生活場面面接ワークシート（記入例） 所属 日本ソーシャルケア研究所 氏名 寫末憲子 記入日 2017 年 5 月 1 日

タイトル：利用者自身を気にかけてくれている誕生日カードを素材に、コミュニケーションのきっかけとし家族の思いと利用者の笑顔を引き出すことができた場面

※話し言葉は「 」書きとする。A～Dについては、時間的経過がわかるよう、冒頭に①②…と連番を付す。

A 周囲の様子	B 利用者等の言動や状態	C 援助者の思い	D 援助者の言動	E 意味付け
①デイサービスセンターから誕生日カードが送られてきていた。	②全く感情表出や意欲を示さない。	③Aさんが興味のありそうなことを話題にしてみよう。	④「デイサービスの様子はどうですか？」	Aさんとのコミュニケーションのきっかけを作りたいかった。 →開かれた質問
⑤夫は「どうせ、おまえなんかにわからないと思って黙っていたんだけど」とバツが悪そうな様子。	⑥わずかながら表情が和らいだ。	⑦デイサービスは楽しいのかもしれない。夫が正直に話してくれたことを喜んでいらっしゃるのかもしれない。Aさん自身、読めないかもしれないので、お見せしながら声にだして読んでさしあげたい。	⑧「Aさんと一緒に拝見させていただくことはできますか？」	誕生日カードを使って、Aさんの感情表出を促すことができた。 →提案
⑨夫はすぐに誕生日カードを見せた。			⑩カードを読み上げながら、「デイサービスのみなさんは、Aさんを大切に思っていられませんか？」と話しかけた。	Aさんのこと気に掛けてくれている人たちがいることを伝え、励みにしてほしかった。 →共感的理解
⑫普段は怖い顔をしている夫の目も潤んできた。	⑪Aさんの顔がほころび、カードを握っていたAさんの手に、少し力が入った様子。Aさんの目が少し潤んできた。	⑬Aさんの気持ちに伝えられたかもしれない。夫との関係を取り持つことができないだろうか。	⑭「Aさんはいろいろとわかっていらっしゃって、ご主人とお話されたかったのかもしれないですね」と、Aさんの手を握り返した。	Aさんと夫との関係を取り持つことができたかもしれない。 →家族間調整
⑯夫が、Aさんに「学生さんに手を振らないの？」と勧めた。	⑰普段ほとんど動作のないAさんだが、手を振り上げた。	⑱Aさんの笑顔や動き、夫の配慮が嬉しかった。	⑮退出時、「Aさんの笑顔が見られたのでとても嬉しかったです。私も元気ができました。」と、手紙を見せてくれた夫に感謝した。 ⑲Aさんに手を振った。	夫婦間の感情交流に、援助者として素直な感情を表現してみた。 →I メッセージ

※本分科会参加者は、本「生活場面面接ワークシート」のみを、配布用として6人分ご持参下さい。

生活場面面接ワークシート 所属 _____ 氏名 _____ 記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

タイトル: _____

※話し言葉は「 」書きとする。A～Dについては、時間的経過がわかるよう、冒頭に①②…と連番を付す。

A 周囲の様子	B 利用者等の言動や状態	C 援助者の思い	D 援助者の言動	E 意味付け